

### Problem List

#### # 1 黄疸

全身に見られ、強膜にも見られた。

#### # 2 排尿困難

受診 4 ヶ月前に気付いた。

#### # 3 尿異常

主訴として暗色尿、検査でもビリルビン 3+、潜血 2+だが、細菌は培養されなかった。

#### # 4 体重減少

3 ヶ月で 5kg 減少した。

#### # 5 紫斑・斑状出血

右腕・右大腿部に紫斑、斑状出血が認められる。

#### # 6 貧血

初回入院、再入院、ともに貧血が見られる。やや悪化している。MCV が約  $70 \mu\text{m}^3$  で小球性であるが、MCHC が約 31% で正常値の下限の正色素性。

画像所見で発見された異常

#### # 7 胸部 X 線

初回入院・退院 1 ヶ月後ともに、両肺尖部に 2 つの不透過像が認められる。

#### # 8 肝内・肝外胆管の拡張

初回入院時に認められ、退院 1 ヶ月後の受診時には縮小傾向が認められた。ERCP にて総胆管中部が 10mm にわたり狭窄し、その先がびまん性に拡張していた。ステントを留置するも再狭窄を起こし、ステント交換を余儀なくされた。このときの brushing biopsy では悪性所見なし。

#### # 9 門脈域のリンパ節腫脹

腹部造影 CT にて初回入院時に 7mm の腫脹が認められ、その後不変

#### # 10-1 膵頭部 mass

初回入院時に腹部造影 CT、超音波で円形・壁肥厚を有した mass。生検では rare reactive epithelial cell、慢性・急性炎症が認められるも、悪性所見なし。退院 1 ヶ月後は縮小していた。

#### # 10-2 膵尾部 mass

初回入院時に認められ、その後変化なし。

#### # 11 脾臓の low density lesion

初回入院時に認められ、その後変化なし。

#### # 12 後腹膜リンパ節腫脹

初回入院時には認められなかったが、退院後 1 ヶ月の検査で確認された。中心部が low density で辺縁は増強されている。